

## 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	石飛 道子
----	-------	----	-------

### 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)							受 験 無 資 格 者 数 (*2)	不 受 験 者 数 (*2)	単 位 取 得 率 (①) %	単 位 取 得 率 (②) %	出 欠 確 認 の 有 無	休 講 回 数	補 講 等 回 数 (*3)
				S	A	B	C	F									
般	宗教学	62	52	5	15	20	12	10	6	4	84%	100%	有	1	1		
専	比較宗教	17	14	7	1	5	1	3	3	0	82%	100%	有	1	1		

\*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目

\*2 Fの内数

\*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。

\*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

### 2. 授業改善アンケートの結果への対応

どうしても講義中心になるので、DVDなどでも補った。ミニレポートをたくさん書いてもらって 参加型の講義を心掛けた。仏教の話は興味を示してくれるが、一神教の方は多少食いつきが悪い。

### 3. 授業における成果や工夫

今回は、比較という観点をはっきり出して、1回の講義の中で内容的に完結するやり方をとった。宗教的な関心をよび起こすため、民間信仰など日常生活に関わるものにまず目を向けさせた。講義の内容の順序を工夫した。

#### 4. 授業における問題点や課題

もう少し皆に意見・感想を出してもらってもよかったかもしれない。プリントで対応したので、その点はよかったと思う。少し専門的になると、「むずかしい」と言われる。

#### 5. その他の特記事項

## 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	上田 敦子
----	-------	----	-------

### 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)						受験無資格者数 (*2)	不受験者数 (*2)	単位取得率 (①/②)%	単位取得率 (②/②)%	出欠確認の有無	休講回数	補講等回数 (*3)
				S	A	B	C	F								
演	伝統文化B	19	19	17	1	0	0	1			95%	95%	有	0	0	

- \*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目
- \*2 Fの内数
- \*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。
- \*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

### 2. 授業改善アンケートの結果への対応

前年度の授業改善アンケート実施:無
-------------------

### 3. 授業における成果や工夫

<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回の歴史のまつわる講話の時間は、学生の講義に対する姿勢、雰囲気をつくるための貴重な時間である。</li> <li>・初回から実技を取り入れることで、静→動へと一変。個々に緊張感を持ちはじめた。</li> <li>・すべての講義に実技を取り入れ、繰り返し練習したことで、色の対比や調和を認識できる表現力がアップした。</li> <li>・伝統文化の技法「型」も教えつつ、学生に自由な発想で創作する時間では、自分の世界に没頭し集中していた。</li> <li>・時間に余裕を持たせ、一人一人に寸評することが次の授業に繋がっていた。</li> <li>・技術が身につけてきた回に、参考花をいくつか選択し讃えた。</li> <li>・独自に簡単なレポート提出を実施。「いけばなの授業で感じたこと」等、文言で表現していただいた。(12月)</li> <li>・極力、学生が多彩な花を使用できるよう、花屋と調整、確認しながら仕入れを依頼した。</li> </ul>
---

#### 4. 授業における問題点や課題

問題点、課題は特にありません。

授業において感じたこと

- ・お花を持ち帰らず、捨てていく学生がいるので驚いた。そのような花を集めて講師が学内に飾っていた。
- ・私語、教室内での飲食も見受けられ、多少注意をするが、あまり改善されない。
- ・冬コートを着たままでの授業は、あまり好ましくない。(教室内はとても温かいので)

#### 5. その他の特記事項

独自作成のレポートでは、毎回、種類の異なる花を扱うことが出来る楽しみ、生活の中で花を意識するようになったとの意見が多く書かれていた。

美しいものを創り出したいという気持ちを育てることも、日々のストレスを忘れ自分の世界に没頭することも、心豊かに学生生活を過ごす一役になる「いけばな」を今後も学んで頂きたい。

花のある生活で、また新しい自分を、学生自身で発見してほしい。

今年度はじめて担当し、私自身も学ばせていただいた価値のある時間であった。

ありがとうございました。

# 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	小野寺 さとみ
----	-------	----	---------

## 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)						受 験 無 資 格 者 数 (*2)	不 受 験 者 数 (*2)	単 位 取 得 率 ( ① ) %	単 位 取 得 率 ( ② ) %	出 欠 確 認 の 有 無	休 講 回 数	補 講 等 回 数 (*3)
				S	A	B	C	F								
般	韓国語/韓国語1・2	5	3			2		3		2	40%	67%				

\*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目

\*2 Fの内数

\*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。

\*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

## 2. 授業改善アンケートの結果への対応

少人数の授業であったためやや一方的な講義になりました。  
 ハングルが読めるようになった後にどう会話を盛り込んでいくか  
 考える必要があると感じました。

## 3. 授業における成果や工夫

文法の説明をした後、慣用句やことわざの日韓比較をしながら  
 理解を深めました。  
 また、韓国の世界遺産を紹介するDVDを見ながら韓国の  
 史跡、名所を通じて歴史や文化についても触れられるように  
 しました。

#### 4. 授業における問題点や課題

受講生が少ない場合のアクティビティーについて今後取り入れられるものを探したいと考えています。

#### 5. その他の特記事項

## 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	菊地 達夫
----	-------	----	-------

### 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)							受 験 無 資 格 者 数 (*2)	不 受 験 者 数 (*2)	単 位 取 得 率 ( ① ) %	単 位 取 得 率 ( ② ) %	出 欠 確 認 の 有 無	休 講 回 数	補 講 等 回 数 (*3)
				S	A	B	C	F									
教	社会科教育法 I	2	2	2	0	0	0	0			100%	100%	有	2	2		
専	日本地理・日本地理 (地誌を含む) B	29	23	5	8	6	3	7	6	0	76%	96%	有	2	2		
専	日本地理 (地誌を含 む) A	18	16	10	4	1	1	2	2		89%	100%	有	2	2		
専	自然地理学概説・世界 地理A	5	5	1	4	0	0	0			100%	100%	有	2	2		

\*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目

\*2 Fの内数

\*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。

\*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

### 2. 授業改善アンケートの結果への対応

作業プリントの評価欄に工夫・改善をした。

### 3. 授業における成果や工夫

前時の作業プリントの評価解説の実施(プリント返却)。

到達目標の提示(板書)

作業プリントを通じての地理的思考力の実践。

作業後の地理的知識の解説・確認。

#### 4. 授業における問題点や課題

留学生を中心とした地理的知識（日本に関するもの）の不足。  
作業プリントは高校までの地理学習を前提としているので、実施が難しい場合もある（留学生の場合）。

#### 5. その他の特記事項



## 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	佐藤 亮太郎
----	-------	----	--------

### 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)						受 験 無 資 格 者 数 (*2)	不 受 験 者 数 (*2)	単 位 取 得 率 ( ① ) %	単 位 取 得 率 ( ② ) %	出 欠 確 認 の 有 無	休 講 回 数	補 講 等 回 数 (*3)	
				S	A	B	C	F									
専	ロシア文化論	15	12		5	3	2	5		3	67%	83%	有	1	1		

\*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目

\*2 Fの内数

\*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。

\*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

### 2. 授業改善アンケートの結果への対応

無味乾燥な講義となることを避けるため、従来より映像・画像を使用しているが、今年度は学生の講義内容の理解度を測るため、講義内での「内容確認のため」のプリントを製作し、記入させる回数を増やした。

### 3. 授業における成果や工夫

上記の工夫のほか、講義内容と学生の興味、関心がつながるような作業を増やした。(例えば「ロシア民話」の回では、「物語構造」と学生の知っている「物語」とを対比させるなどの作業)。

#### 4. 授業における問題点や課題

従来よりレポートにおけるコピー行為を禁じてきたが、近年はその数が減少している。しかし今年度においても、2名の学生が悪質なコピーを行ったため、大幅な減点となり、不可となった。

#### 5. その他の特記事項

上記のコピー行為を無くし、精度の高いレポートを作成させるために、①書誌情報の正確さ②内容の梗概作成能力（要約）③内容分析の深さ、の三点において基礎的な事項を学生に確認させる時間が必要であるかもしれない（「ロシア文化論」の内容から離れてしまうかもしれないが）。

# 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	新庄 勝美
----	-------	----	-------

## 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)							受 験 無 資 格 者 数 (*2)	不 受 験 者 数 (*2)	単 位 取 得 率 ( ① ) %	単 位 取 得 率 ( ② ) %	出 欠 確 認 の 有 無	休 講 回 数	補 講 等 回 数 (*3)
				S	A	B	C	F									
般	政治学	36	27	7	7	7	4	11	6	3	69%	93%	有	1	1		
専	行政法	5	5	3	1	1	0	0	0	0	100%	100%	有	1	1		

- \*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
留：留学生用科目
- \*2 Fの内数
- \*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。
- \*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

## 2. 授業改善アンケートの結果への対応

伝えるべき要点を整理して案内するよう要望された点→板書で明示することを心がけた

## 3. 授業における成果や工夫

- ・早口にならないよう注意しつつ、学ぶべきことを明瞭に伝える
- ・講義資料配布で復習すべき事項について自学する姿勢をつくってもらう →これらについて試みた

#### 4. 授業における問題点や課題

- ・講義を聴いて、要点を書き取ることの訓練が大事だと考えているが、思ったような成果が出ていないと感じられること
- ・ともかく指定した教科書を購入するつもりがない学生にどのように学ばせるきっかけをつかんでもらうのかに苦慮していること

#### 5. その他の特記事項

- ・「見開を広め、講義をどう身に付けるか」は学生それぞれであること。この件については、昔とそれほど変わらないとの感慨を抱いています。

# 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	苫小牧市特別講座
----	-------	----	----------

## 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)						単位取得率 (①) %	単位取得率 (②) %	出欠確認の有無	休講回数	補講等回数 (*3)
				S	A	B	C	F	受験無資格者数 (*2)					
専	地方自治法	20	17	2	7	3	5	3	3	85%	100%		1	

- \*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目
- \*2 Fの内数
- \*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。
- \*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

## 2. 授業改善アンケートの結果への対応

各担当者による工夫により、学生が少しでも講義に参加できるように(例:ディスカッション形式)などを取り入れた。

## 3. 授業における成果や工夫

できるだけ若い職員が講師を担当することで、学生との距離を縮めるよう配慮した。また、講師も学生に対し積極的に発言を求めることで、双方向の講義が(少しは)実現できたように思う。

#### 4. 授業における問題点や課題

ただでさえ法学という難しい内容であるにもかかわらず、「地方自治法」という法学の中でもマイナー分野であったことから、学生にとっては難しい内容になってしまったかもしれない。だが、学生の中には懸命に聞いてくれる者も多かったように思う。

#### 5. その他の特記事項

来年度も同様の講義を行う予定である。

## 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	松田 剛史
----	-------	----	-------

### 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)							受 験 無 資 格 者 数 (*2)	不 受 験 者 数 (*2)	単 位 取 得 率 ( ① ) %	単 位 取 得 率 ( ② ) %	出 欠 確 認 の 有 無	休 講 回 数	補 講 等 回 数 (*3)
				S	A	B	C	F									
教	教職実践演習	3	3	0	2	1	0	0			100%	100%	有	3	3		
教	公民科教育法 I	2	2	0	2	0	0	0			100%	100%	有	1	1		
教	公民科教育法 II	2	2	1	0	1	0	0			100%	100%	有	3	3		

\*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目

\*2 Fの内数

\*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。

\*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

### 2. 授業改善アンケートの結果への対応

個人的にメール等で受付ける。

### 3. 授業における成果や工夫

ルーブリックを用いた自己評価活動を導入した。ポートフォリオにより、自己の学びの軌跡を確認することで、学びへの向き合い方や意識の向上に役立った。また、学外での演習を多く設定し、視野の広がりに努めた。

#### 4. 授業における問題点や課題

受講者数が少ないため、相互の学び合い活動が効果的に行えず、残念である。しかし、他大学との連携によりその問題の克服に努めた。

#### 5. その他の特記事項

特になし



## 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	養島 栄紀
----	-------	----	-------

### 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)							受 験 無 資 格 者 数 (*2)	不 受 験 者 数 (*2)	単 位 取 得 率 ( ① ) %	単 位 取 得 率 ( ② ) %	出 欠 確 認 の 有 無	休 講 回 数	補 講 等 回 数 (*3)
				S	A	B	C	F									
専	異文化交流論B	33	31	11	4	7	9	2	0	2	94%	100%					
専	アジア文化A	55	51	13	7	19	12	4	0	4	93%	100%					

\*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目

\*2 Fの内数

\*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。

\*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

### 2. 授業改善アンケートの結果への対応

個人的には、熱意点が低くならないようにしようと気にしている。

### 3. 授業における成果や工夫

極力詳細な資料やレジュメを作成・配布するように心がけている。毎回の授業後に課題を出しており(1回5点満点)、出欠チェックを兼ねて、成績評価における平常点の比率を高め設定している。そのため、学生も成績をある程度自分の成績を予想しやすいと思われる。それゆえか、成績評価に対して不満を漏らす者が少ないと感じている。

#### 4. 授業における問題点や課題

担当者個人の問題として、今年度と次年度、外部委員のための一週間程度の出張がほぼ毎月入っているため、休講せざるをえない場面が増えている。それ以外は特になし。2～3年前に比べ、受講生の規模は大差ないが、私語が確実に少なくなっていると感じるのは好印象。

#### 5. その他の特記事項

特になし。

# 平成28年度秋 Semester 教育活動報告

職名	非常勤講師	氏名	村井 雅之
----	-------	----	-------

## 1. 担当科目の概要

区分 (*1)	科目名	履修登録者数①	試験受験者数②	成績分布 (人)							単位取得率 (①) %	単位取得率 (②) %	出欠確認の有無	休講回数	補講等回数 (*3)
				S	A	B	C	F	受験無資格者数 (*2)	不受験者数 (*2)					
専	北海道環境論	19	17	2	8	5	2	2		2	89%	100%	有	2	2

\*1 般：一般教育科目、 共：共通科目、 専：専門科目、 演：演習科目、 実：実習科目、  
 関：関連科目、 自：自由科目、 教：教職科目、 司：司書教諭科目、 学：学芸員科目  
 留：留学生用科目

\*2 Fの内数

\*3 レポートなどによる代替処置も含まれます。

\*4 試験受験者数が3人以下の授業については、個人情報保護の観点から成績分布は省略します。

## 2. 授業改善アンケートの結果への対応

アンケート結果を知らない為 記入できません。

## 3. 授業における成果や工夫

実際の事例を出来るだけ加え、興味感心をうながすようにした。  
 学生により差があるが、成果はあったように思う。

#### 4. 授業における問題点や課題

講義進行に支障はなかったが、講義に集中せず、スマートフォンを観ている学生が数名いた。

#### 5. その他の特記事項

特になし